

稲荷山図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和7年11月4日(火) 10時30分～12時
- 2 場所 稲荷山図書館 2階 会議室
- 3 出席者 利用者 9名
図書館 3名
(稲荷山図書館長、館長代理2名)
- 4 テーマ 「これからの稲荷山図書館サービスについて」
- 5 配布資料 (1)令和7年度教育要覧(図書館部分抜粋)
(2)これからの図書館構想の概要
(3)令和7年度「事業実績一覧」
(4)情報発信いなりやま(令和7年11月号)
- 6 次第
 - 1 稲荷山図書館長挨拶
 - 2 図書館職員紹介
 - 3 事業紹介
 - 4 昆虫事業紹介
 - 5 懇談
 - 6 閉会の挨拶

稲荷山図書館利用者懇談会 会議録

1 稲荷山図書館長挨拶

本日はお忙しい中、懇談会にご出席いただきありがとうございます。毎年実施しております懇談会ですが、今年は「これからの稲荷山図書館サービスについて」をテーマに、図書館サービスのありかたや稲荷山図書館に今後求められる取組について、ご意見をお聞かせいただければと思います。

また、稲荷山図書館には昆虫に関する専門的な資料が多く、関連事業にも力を入れています。その取組についても、お気づきの点がございましたらご意見を頂戴したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

2 図書館職員紹介

館長代理2名

3 事業紹介

図書館 実施事業に関して、ご質問などございますでしょうか

利用者 稲荷山の事業実績の中で、圧倒的に子どものイベントが多いですね。それは結構なことで、今までの練馬区の図書館の歴史などを考えると当然で、そういうボランティアさんがたくさんいて支えられているという事はよく分かります。一般の事

業でも、おそらく15歳以上や中学生以上といった形で呼びかけていると思いますが、その時に中高生は参加されるのでしょうか。また、青少年といった限定的な呼びかけの事業と反応がどの程度違うのでしょうか。

もう一つ質問です。練馬区全体としては外国人の利用が非常に多くなったり、高齢者比率が一段と増えて少子化が進んだりしていますが、図書館にそういう顕著な動きはありますか。以上2点をよろしくお願いします。

図書館

まず、中高生の利用に関してお話しします。一般を対象とした事業でも、内容次第では青少年の参加も見られますが、反応は青少年を対象とした事業の方が多くなります。特に稲荷山図書館として力を入れているのは、6月から8月にかけて実施したYAポップコンテストです。学校にご協力いただき、中高生の方が作成したポップを展示する事業で、こちらをきっかけに来館される方が多い印象があります。好きなポップに投票したり、じっくり見ていたり、作品について話したりする様子が頻繁に見られました。参加者も昨年より増えており、今後も活発に行っていきたいと考えています。また、会議室の開放時間について、放課後にあたる16時以降を基本に平日も開放するようにしたところ、調べものや学習に利用する中高生の姿が多く見られるようになりました。拡大のきっかけが、席を探している様子の中高生を見かけたことだったので、この結果を喜ばしく思っています。

次に、外国人と高齢者についてですが、高齢者に関する事からお話しします。大きな変化は見られませんが、稲荷山図書館は高齢者の利用も多いです。「いきいきコーナー」という高齢者向けのコーナーを設置しており、半年に1度の頻度で展示資料を入れ替えながら、高齢者がいきいきと暮らせるような取組を続けています。高齢者向けの事業も多く行っており、5月に実施した「ねりま ゆる×らく体操」などは人気が高く、毎年楽しみにしている方も多いようです。また、高齢者施設での出張おはなし会を行っており、近隣にある土支田デイサービスセンターでは本の団体貸出を定期的に行っています。他には、スマートフォン教室も高齢者が対象です。

次に、外国人に関してですが、館内で外国人の方をお見掛けすることはあまり多くはない印象です。事業としては、外国語の絵本の展示（よんでくらべて！えいごとにはんごのえほん）を最近行いました。外国語の絵本と、同じ作品の日本語版の絵本とを並べて展示することで、見比べながら楽しめるような展示でした。他には、ちょうど昨日の「清水山の森マルシェ」には外国の方もいらしていたのを見かけました。今後気にかけていきたいと思います。

利用者

地域包括支援センターでは、こちらの会議室をお借りして認知症サポーター養成講座を実施するなど、色々ご協力いただいています。認知症カフェのようなものも、こちらで実施させて頂きありがとうございます。本当に助かっております。先ほどの質問の回答の中で、土支田デイサービスセンターでの読み聞かせと本の貸出しも行っているとお聞きしましたが、本の貸出しというのはどういう形態で行っていらっしゃるのでしょうか。

図書館

折り畳みコンテナ1つ分の本を台車に乗せて、直接持ち込みの形で行っています。こちらは非常に特殊な例で、他の場所に適用できるものではありませんが、距離が

非常に近いためにできています。

利用者 デイサービスセンターの利用者の方がそれを自宅に持って帰ることも可能なんですか。デイサービスに来た時にそこで見られる形でしょうか。

図書館 デイサービスに来た時にそこで見られる形です。

利用者 昔よく移動図書館などありましたが、そういう試みはなさっていませんか。

図書館 過去には練馬区内で行われていましたが、現在は行われていません。

利用者 デイサービスセンターへの貸出しはとても画期的だと思いました。周りに坂もありますし、高齢者の方は図書館まで来るのが大変なので。近くでそうして本に触れる機会があったら良いと思いました。ありがとうございます。

利用者 昨年シェアサイクルポートを設置したと聞きましたが、1年間置いてみていかがでしょうか。ここは坂の途中ですし、どのくらい利用があるのか気になっています。

図書館 シェアサイクルの利用については、予想以上に使われている印象です。毎日置かれている自転車の数や種類が変わっていて、ここに乘って来られる方や出発する方を見かけることも頻繁にあります。

利用者 それによる図書館の利用者層の変化や人数の増加までは分かりませんよね。

図書館 利用者層が変わるほどではありませんが、人の流れが新しくできたことで、立ち寄る方は増えている印象です。利用者数の増加に関しては、会議室の開放時間拡大の方が影響は大きいように思います。

4 昆虫事業紹介

図書館 昆虫事業に関して、ご質問などございますでしょうか。

利用者 昨年度の懇談会の際、稲荷山図書館には昆虫に関する資料が充実しているので、マニアックな深い世界の事業を実施されてはとお話ししました。8月の昆虫講演会や標本展などがそれに当たるとは思いますが、それに対してマニアの集客はいかがでしたか。それが好きで来られたという方はいたのでしょうか。

図書館 昆虫講演会は、おっしゃりますようにマニアックというか、お好きな方が遠方の県からも参加されました。標本展に関しても、初めて来たという方もいましたし、普段来られている方にもかなり標本がお好きな方もいらっしゃるの、そういう方に来ていただけました。1日のみの開催でしたので、どちらかというとな隣から見に来てくださった方が多い印象です。普段展示していない物が見られるという事で来たという方もいらっしゃいました。

また、標本を自宅でたくさん持っていて、寄贈先を探しているという方が来られました。ご家庭で力を入れて取り組んでいて、今後どうしようかということで。当館で新たに所蔵するということは収蔵場所の都合で難しいのですが、(福島県)矢祭町に古民家を改装して作られた昆虫施設がありまして、そちらをご案内しました。

写真展でもオンラインで本格的な写真を応募してくださる方はいらっしゃるの、色々な所から見て頂いていると思います。

利用者 森に囲まれていて、カブトムシも飼育されていて、稲荷山憩いの森で昆虫採集していると聞いた事がありますが、地元の生き物も購入した生き物も飼育しています

よね。中里郷土の森に来る子どもたちには、他所で買った外国の生き物を、悪い事とは知らずに稲荷山に逃がしたという子も結構います。どちらも飼育している施設として、そういう事を言われた際にどうしていますか。わざとではないし、怒るのは避けたいですが今後はやめて欲しいので、伝え方にいつも困っています。練馬の自然を守るためにも大事なことだと思うので。

図書館 「こんちゅう教室」に関しては、（稲荷山憩いの森で）採って図書館で絵を描くまでが一つのイベントなので、採集した虫をこちらまで持って来るのですが、そこでは放さず、必ず森に持ち帰っています。その場で逃がさないようにという事は、イベント毎に伝えるようにしております。私共が飼育している海外産の昆虫に関しては、死んだ後でこの場に埋めてはいけない、という事を知っているので、可燃ゴミとして扱うことになっています。標本にする事もありますが、その土壌には埋めないようにしております。ただ、子ども達にはそこまでの注意はできかねると思います。こちらでできる範囲で、イベント等では伝えるようにしております。

利用者 ありがとうございます。

図書館 昆虫事業の中では、先生からこれは外来種だからその場に逃がせない、というようなお話があったりもします。イベントがそういった事を伝える場になっています。ただ、抽選制で誰でも参加できるわけではないので、全員に伝えるのは難しいです。

5 懇談

図書館 それでは懇談に移らせて頂きます。テーマが「これからの稲荷山図書館サービスについて」ということで、稲荷山図書館に今後取り組んでほしい事や、こういった協力をしてほしいなど、ご意見がございましたらお願いいたします。

利用者 陽和病院です。当院も、大人に差し掛かったくらいのお子さんから、高齢者は100歳を超えるくらいまで、本当にたくさんの層の方がいらっしゃっています。精神の部分なので、一般のデイサービスや地域包括支援センターにいらっしゃる方と少し層が違うかもしれませんが。先ほど、高齢者向けのおはなし会をやってらっしゃると聞いて、当院も認知症の治療病棟があって、そこでは昔の事を思い出すようなことも有効な治療の一つなので、そういったリハビリ等の部分で一緒にできると良いと思いました。

また、当院も発達障害の方向けのプログラム等を行っているので、子ども向けの易しい会話など。今はスラングが標準語ようになってきていて、対面で言葉を交わす以外にLINEやSNSを通じてのコミュニケーションなどもあるので、健康的なコミュニケーションにはどういうものがあるのかと。それから、ストレスとは何か、といった部分では、地域のメンタルヘルスの病院としてご協力できるかと思っています。当院も地域の情報を伝えていく立場でもあるので、そういった部分で次年度以降協力ができたら良いと思いました。

図書館 ありがとうございます。認知症の方に昔を思い出してもらおうというのは、今デイサービスで行っていることの延長線上にある部分だと思うので、今後出張おはなし会などを実施できたらと思います。また改めてお声がけしますので、よろしく願いいたします。

利用者 子どもの発達支援に関して、例えば保護者や周囲の方のアプローチ方法は、今とても需要があると思います。意外と保護者以外の、周囲を取り巻く大人たちが知らないということもあるので。高齢者だけでなく、発達支援の子どもを取り巻く大人もそうですし、ヤングアダルト世代の、少し自分が生きにくいと思っている子たちに向けてのアプローチというの大きな需要があると思います。

図書館 稲荷山でも以前おはなし会に毎月来てくれていたご兄弟で、落ち着きがなかったり、声が出てしまったりということがありました。他の子たちは聴きづらくなって、その子も落ち着けなくなってしまっ。その子たち向けのおはなし会を作ってみようという話も出ましたが、その時は実施には至りませんでした。しかしそういう子たちも図書館をたくさん利用して下さっているの、今のお話を聞いて、改めて考えてみようと思いました。

利用者 小中学校ではかたくりがありますよね。私の子どもも黒板の字が取れずに識字障害ではないかと言われていて、週に一度、金曜日にかたくりルームに通っています。そこではそういったコミュニケーションや集団にとけ込む方法に少し課題を持っている子どももいると思うので、通常学級よりはそういった所に通っている子たちに声をかけると、ある程度母数がまとまるのかなと思います。ただ、かたくりルームも陽和病院もADHDではないので、その教室の日程によって、だいぶお子さんの個性が違うのではないかと思います。ソーシャルワーカーの方と少しやり取りして頂くといいのかなと思います。

図書館 ありがとうございます。

利用者 私は学校のおはなし会に行っていて、学校によっては支援学級にも入らせて頂いていますが、ちゃんと聴いてくれます。もちろん個性に差はありますが。ただ、図書館ではそういう子を集めるのはとても難しいと思います。私たちは絵本を使わないし紙芝居もしませんが、素話だけでもちゃんと聴いてくれるので、そういう子たちを集められるなら十分に成り立つと思います。

図書館 動きだしたり騒ぎ出したりとか、いろんな子がいると思いますが、そのあたりも大丈夫そうですか。

利用者 支援学級だと先生が何人かいて、見てくださっています。たまに出ていく子もいますが、それは仕方ないです。大体は聴いて楽しんでくれます。支援学級では、おはなしの間にわらべうたや手遊びを普通のクラスより多めに入れながら、長いおはなしではなく短いものをいくつかというような配慮は必要ですが、子どもはちゃんと楽しんでくれます。

図書館 ありがとうございます。選択肢が広がって、できることが増えていきそうです。

利用者 昆虫に関して質問です。中里郷土の森さんのお話とも関連しますが、今年は園のカブトムシも生育が悪くて、本当に全部死んでしまう状態で。そうなった時に、今まで中で交配を続けていた所に、外のものが欲しいという話を頂いていましたが、逃がすなら稲荷山に連れて来てとといった声かけはしても良いでしょうか。

図書館 はい。はっきり申し上げると喉から手が出るほど欲しいです。一時期は200匹ほどいましたが、今年は幼虫が50匹を下回っています。生まれてもすぐ、2～3日で死んでしまっ。今までは大きくなった幼虫は安泰でしたが、それも死んでしまっ

ています。北大泉幼稚園さんに幼虫を寄贈して、園児の皆さんとペットボトルに入れて育てるというイベントで毎年10匹前後渡せていましたが、今回は3匹しか渡せていなくて。どんどん減っているのも、昆虫教室などでも不要であれば寄贈してほしいといったことは伝えています。

利用者 この辺で採ったものではなく、例えば祖母の家で採ったものをこの辺りに放すなら、せめてこちらで寄贈させて頂くのが良いかと思いました。そういう教育にもなりますし、自然保護にもなりますし、遠くで放さないようになるので良いかなど。結構持て余している家があると思います。

図書館 日本の、ヤマトカブトムシであればありがたく頂きます。

利用者 当院の職員も結構飼育していて、ちょうど先週二十数匹を院内で配っていて幼虫を3匹頂きました。たまにそういった人もいます。

図書館 もし増えすぎてお困りですか、ご不要ということであれば、喜んで頂きます。他と交配させた方が、血が強くなっていくので。

利用者 お声がけしてみます。

図書館 ありがとうございます。数が多い方が、この先も喜んでくれると思うので。ただ、カブトムシ以外の外来種の寄贈については事前にご相談ください。採取してはいけないものや、採取は良くても飼育してはいけない等、色々あるので。普通の日本のヤマトカブトムシであれば頂きます。

利用者 いつも見る、こういう目の形のイラストありますよね、カブトムシとクワガタの。かぶ吉、くわ丸ですね。

利用者 あれは公式キャラですか。

図書館 一応稲荷山図書館のキャラクターではありますが、8～9年ほど前に作ったもので、作成者がもう在籍していないので、同じイラストを使い続けて、たまに相談するくらいです。

利用者 ああのキャラが結構好きで、たくさん出てくるといいなと思います。もっと最近のものかと思っていました。

利用者 高齢者の方について、特にこの一丁目辺りは居場所がとても少ないです。例えば図書館前のお庭とかエントランスの所は、お花もあって綺麗ですよ。あの辺りで椅子や机を出して、少人数での集いのような事にお貸し頂くことはできるのでしょうか。中まで入って会議室でとなると大仰なので、近所の方が寄ってお話できるような感じで、認知症の方などを支えるボランティアの方と3～5人くらいで。先日のバードウォッチングには男性が参加させてもらいましたが、みんなでかしまってやる分には男性の参加はとても少ないですが、外での鑑賞ですと参加者が多いので。雨の日ではできませんが、お元気な高齢者がお花などのボランティアをするといったことも含めて、そういう時にお借りできるのでしょうか。

図書館 建物の外の部分について、この場で即答はできないので、持ち帰って検討させていただきます。ベンチの辺りでは、一般の方が何人か座ってお話ししている様子はよく見られますし、そういった使い方はできます。職員の方と一緒にという事になると、事業として申請など必要になりそうです。

利用者 近くの高齢者の方は、曜日を決めて公園の東屋のような場所で集まって、近所の

お蕎麦屋さんからお蕎麦を取ってお話しするという事が定着しているグループがあります。そういった感じで、その時間に行けば誰かが来ていてお話しができる居場所のような。最初は職員が行くとしても、定着後はご本人たちでできたらいいと考えています。

図書館 待ち合わせなくても誰かがいるような居場所づくりの一環ということですね。検討いたします。

庭の部分に関して補足いたします。庭に新たに固定物を設置するようなことは難しいですが、樹木管理を受託しており、周りの樹木の剪定や花壇の植え替えを行っています。お花は、今の時期ですと寒さに強いパンジーが多くなっています。また、昆虫に強い図書館ということで、昆虫が食べる植物が中心に植えられています。この辺りにどういう昆虫が集まるようにと、エリア分けを考えて植えられたようです。アゲハのゾーン、タテハ類のゾーンといった具合です。

利用者 それは何か掲示されているんですか。

図書館 掲示はされていません。こちらは当初の計画なので、徐々に変わってきている部分もあると思います。カブトムシが好むものも植えられていますね。

利用者 好まれる植物が色々あって、計画的に植えられたんですね。

図書館 裏手に飛び石の道が続いていて、この辺りで緑を楽しみながら安らぐといった事もできるかもしれません。

利用者 私はあまり利用していないので、数字から見て気づいた事ですが、青少年向けの資料もイベントも少ないと思います。YAポップコンテストについて、光が丘の方で非常に反応が良くて、500件ほど集めてポップ大賞を決めました。非常にリアクションが良かったのですが、稲荷山でのこのイベントは成功したのでしょうか。

図書館 こちらは毎年稲荷山図書館で行っていた事業で、稲荷山での反応が良いので、光が丘図書館でも同様のイベントを実施したいというお声があり、今回光が丘で初めての実施となりました。稲荷山でも多くの学校にお声がけして、当初は10枚だったポップが回を重ねるごとに増えていって、今回は71枚となり、反応も大きかったと思います。

利用者 光が丘の場合は大成功でした。YAのイベントはサービスで何をしてあげるかということだけでなく、その人達がサービスの提供者になれる可能性がありますよね。本だって読めるし、そういう紹介をしたりする視点からも提案されると良いと思います。

利用者 結構盛大ですよ、稲荷山のポップコンテスト。ぜひこの時期に見に来てください。応募者も多いですし、素敵な作品がたくさんあって。毎回投票しています。

図書館 光が丘図書館と比べるとどうしても規模が小さいので、その分少なくなっていますが、稲荷山図書館の立地や規模を鑑みると相当な成功を収めている事業だと思います。

利用者 見て頂くのが一番だと思うのでぜひ。

図書館 それから、中高生が提供する側になる、というようなお話しがありましたが、そういった観点ですと、今年度は手話つきおはなし会を11月に予定しています。こちらは手話部の学生さんが講師となり、手話を使ったおはなし会を行うイベントとな

っております。そういった形で、部活動などから学生さんに参加して頂けるような事業も行っております。

英語部の方にも、多言語のおはなし会を毎年開いて頂いています。学生さんが来ると子どもの反応が普段と変わりがちで、参加者も多く楽しいイベントになっています。今年度は英語部の方の都合が合いませんでしたが、来年度以降も継続して計画しようと考えております。

利用者 ブックスタートの方でも大泉桜高校のボランティアの方々に地図を作ってもらったり、稲荷山図書館でやっている事業の為ということで大きく展示物を作ってもらったり、意外と地域の中高生とも連携がありますよね。職場体験の子たちもいますし。

図書館 はい。職場体験に来た子にもおすすめ本選びとポップ作成をお願いして、その展示を行うなど、色々と連携させて頂いています。

利用者 資料に関しても、青少年という形の分類ではありませんが、昆虫資料は青少年が自由研究に使える物まで揃っていて、他の館と比べて蔵書が多くて助かっています。

図書館 昆虫講演会などマニアックな事業の話がありましたが、普通の一般イベントでは中高生の参加が少ない一方、昆虫事業では虫好きの中高生の参加も多く見られます。それが当館の特徴的な部分かもしれません。また、小中学生が対象の子ども向け事業にあまり中学生が来ないという事もありますが、こんちゅう教室では虫好きの中学生たちが参加されるので、昆虫に関しては特別にYAの参加も多いかと思います。

図書館 前回の利用者懇談会で、稲荷山のおはなし会で子どもの参加が増えないという話がありました。その際、おはなしの会やブックスタートの会の方に色々ご助言いただきまして、おはなし会のチラシ作成や、北大泉児童館とのおはなし会コラボが実現できました。今後も参加者が増えるよう努めて参りますので、お気づきの点があればぜひ教えて頂けたらと思います。チラシも色々な所に貼れるようにしていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。ありがとうございました。

利用者 稲荷山公園の再整備計画は、直接ここには何も影響はないと考えられていますか。

図書館 稲荷山図書館では一般公表されている以上の情報を持ち合わせておらず、現状では今後の影響については分かりかねます。参考までに、不定期発行されている稲荷山公園ニュースが4号まで出ており、当館でも閲覧できます。

6 閉会の挨拶

それでは、以上をもちまして利用者懇談会を終了とさせていただきます。皆様から頂戴した貴重なご意見を今後につなげていきたいと思ひます。今回の懇談会に限らず、お気づきの点などございましたら、いつでもお声がけ頂けますと幸いです。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。本日はご出席いただきましてありがとうございました。